

私、くわに恭子は、皆様のご支援により平成15年4月、佐伯区選出、初の女性議員として、広島市議会に送り出させていただきました。

議員活動は、世間の常識を新鮮な風として議会、行政に吹き込む。女性の視点、生活者の視点で、質問、議案の提案を行い、精一杯頑張っております。

しかし、議員では、限界があると感じています。いくら言い続けても人件費削減は実現できません。議員の費用弁償を廃止できません。

財源無くして、市民の幸福のための施策は実現できません。法律の範囲内だからと借金をし続ける国、行政の負担の先送り方式は限界です。若者、子ども達に未来はありません。9年後(2020年)には、就業者3人、2人の高齢者と支える世の中になります。徹底した情報公開を行い行政のムダを削除、国を先送りに人件費削減を行います。

不安定な社会情勢です。市民の安心な生活と希望ある生活を奪ってまいります。人と人の交流がある優しい都市を作りたと思っています。

117万の市民、行政議会が一体となり新しい広島市を作ります。

2011年2月  
くわに恭子



2010年5月 NYにて平和行進参加

## ごあいさつ



4年前、多くの皆様のご支援を頂き、2期目を当選させていただきました。佐伯区の皆様が、くわに期待し応援して頂いた結果と、本当に感謝いたしております。

皆様の応援を力に、生活体験に基づいた市民の目で行政・議会の不合理を改革すべく活動してまいりました。

しがらみのない是非々の姿勢で初心(志)を忘れず着実にこれからも歩んでみたいと思っています。

くわだが、今後さらに大きく育つよう、多くの市民の皆様のご支援をお願いいたします。

くわに恭子を育てる会 会長  
彩が丘連合町内会長  
雨瀧 弘和

## くわに恭子 Profile

1961年11月 東広島市生まれ  
(昭和36年) 県立賀茂高校卒業、  
京都芸術短期大学卒業後就職

1986年 結婚、出産  
(昭和61年) 子育てをするなかPTA活動に関わり、彩が丘小学校のPTA会長を経験、また地域の子ども会活動に参画  
彩が丘学区子ども会会長など

2003年 広島市議会議員に立候補当選  
(平成15年)

現 在 広島市議会議員  
佐伯区子ども会連合会 副会長  
彩が丘学区子ども会 育成指導員  
彩が丘パトロール隊 隊長  
保護司  
夫・娘・息子の4人家族

# 広島市に 新しい風

まちづくりは人づくり!  
市民本位の行政を行います



広島市議会議員〈無所属〉

きょう こ  
くわに恭子

内部検討資料

TEL.082-929-2930 FAX.082-929-2928  
Eメール kyoko-k@dream.ocn.ne.jp  
http://kyoko.moo.jp



## 議員8年間の成果

### 議員定数削減

60人から55人に…

- 平成16年3月「大幅削減」の決議を可決。平成18年の9月「議員定数削減」を議員提案し可決。5人程度の削減では納得のいかないところもありましたが一つの成果と思っています。

### 人件費削減

職員、有給の休息时间廃止  
時短を2度否決

- 財政再建には人件費削減が不可欠です。1期目、民間には無い公務員の特典である「有給の休息时间(30分)廃止」に着手。今期、平成20年4月に廃止。全職員の休息廃止は約750人(56億円)の人件費削減です。
- 給与を据置いた勤務時間短縮は3%超の賃金UPなので反対しました。平成20年12月と平成21年3月議会で賛同を得て2度否決しました。就業規則の議案否決は日本中で例がありません。

### 議会改革

政務調査費全面公開の効果は  
年間5千万円

- 平成20年度から全領収書を公開しました。全面公開の後は全体の2割以上(約5千万円)が返還されました。理由は政務調査の領収書が無いからです。

費用弁償廃止議案は4度提案  
可決ならず…

- 議案を出すのが議員の仕事、報酬の2重取りである費用弁償廃止議案を提案し続けました

# まちづくりは人づくり! 市民本位の行政を行います

## 1 財政再建

公務員人件費削減と恒常的な雇用対策

- 全職員の平均年収700万円超は余りに高額! 国税庁調査では民間は20年前の水準、406万円です。人件費2割減を実行します。
- 職員の時間外手当は毎年50億円以上、ここに新たな雇用を創出します。例えば時給800円のフルタイム雇用を3600人創出できます。卒業して就職できない若者も雇用します。
- 公務員内部で正規、非正規の格差が生じています。働き方、給与体系の見直しを行います。

市長の退職金ゼロ、報酬は1/2  
議員、市長のボーナス加算を廃止

- 4年で4000万円以上の退職金は非常識です。報酬は1/2に減額。ボーナスの不合理な2割加算も廃止。人件費削減を実行します。
- 財政再建には徹底した情報公開が不可欠。税金の用途を分かり易くネットで開示します。



## 2 議会改革

議員定数は2割減

- 行政の最終責任は議会です。議会は世間の常識と等しくないといけません。費用弁償廃止すらできない議会は市民から見放されます。ネットなど情報通信の発達したこの時代、議員が40人になっても困る市民はいません。費用弁償廃止、議員定数の2割減を行います。
- 議会と行政の活発な議論は、市政運営の要です。ともに市民の代表、建設的な関係の構築が必要です。

## 3 教育・福祉

行きたい大学に入学、学費はただ!  
こんな教育ができないものか

- 教育は未来への投資、国の根幹です。学習と成長の保障は大人の責任、理想の教育を追求します。
- 子どもの抱える課題は多様化し、学校・児童館は人材不足です。様々な形で人材支援と、子どもの救済機関を設置します。
- 待機児童の解消と就学前教育の充実を図ります。



高齢者の生活保護が急増! 誰もが安心して暮らしたい

- 若いうちはしっかり納税、老後は安心の年金生活。セーフティーネット構築は行政の責任です。
- 高齢者に限らず、1人暮らしが増加します。地域での見守り体制、地域コミュニティの充実を実行します。
- 高齢者が激増する社会。負担の少ない介護を目指します。

## 4 広島活性化

まず雇用、安心してお金が使えないと  
経済は良くなりません

- 若者の就職難は深刻。雇用支援、起業支援を行います。
- 県内に2か所ある世界遺産を活用、廿日市市にある宮島との連携で観光事業を進めてまいります。
- 太陽光発電など環境対応事業の助成制度を拡充します。

## 5 平和・核兵器廃絶

平和継承の人材育成が重要

- 内外への平和発信は必然。平和研究の活用、平和宣言の起草委員会を設置します。
- 平和、核廃絶の人材育成とNPO支援を行います。
- 折り鶴は再生し、卒業証書などに活用します。
- 8月6日を中心にノーベル平和賞受賞者による講演会などを継続して開催します。

